



農業委員会だより

■発行人 飯山市農業委員長 松永晋一
■編集 飯山市農業委員会 情報委員会

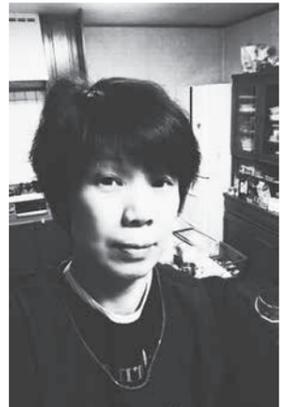
飯山市
農業委員会事務局
飯山市役所農林課内
電話：62-3111
(内線 261)
FAX：62-6221

19.5

No.236

がんばっています！

— No.42 —



小林 寿々恵さん
(常盤地区)

6次産業参入

先日、37年目の結婚記念日を迎えました。主人とはスキー場で知人を通して知り合いました。

その後、知人宅の採れたてのおいしいトマトの味と、みゆきポークの生産者である従妹の佐藤ご夫妻のすてきな笑顔に誘われて、私は全然知らない農村に飛び込んで参りました。嫁に来た夏はTシャツにカラージーンズにビーチサンダルといういで立ちで、斑尾の畑にえんどう豆を毎日、朝から晩方まで弁当持参で採りに

行った事を懐かしく想い出します。「農業って休みがなくて大変だなあ!!」と思っていました。

あれから37年、いろいろな事がありました。りんご・ごぼう・長芋・ほうれん草・きゅうり・アスパラなど、はよりの野菜を作ってきました。しかし、農閑期の半年は季節労働をせざるを得ない状況で、主人はスキー場や造り酒屋に行き、私は子育てが終わってから、一年を通して会社勤

めをして何とかやってきました。私は農繁期が半年しかないこの飯山で、「農閑期の半年に何か農産物の加工品ができないかな?」と、長年模索してきましたが、なかなかこれといった物がみつからず、私も夫も会社勤めを辞める年齢となりました。

たまたま夫がこだわってきた、健康な畑と健康な身体というポリシーに合った『えごま』が健康食品として話題となったことでした。その時「これを加工品にすれば一年中農業が営めるではないか?」と思ったことが、えごまの栽培からえごまの加工食品などを始めるきっかけとなりました。今年で4年目です。えごまの栽培は、昨今の異常気象によりなかなか思いどおりにはいきませんが、また、商品になるまでに

はラベルから箱、そしてロゴマークなど、知らないことが山ほどあって頭をフル回転しても間に合いません。「えごま油を作ってもどうやって売るのが?」それも、これからの大きな課題であり、まだクリアできていません。

この歳になって新しい事業を始めましたが、夫婦とともに協力して歩むことができる農業が根幹にあり、それができる環境にも感謝をしています。まだまだ課題は山積みですが、それなりに農業を楽しんで、これからも頑張っていきます。



飯山市の 新規就農支援政策

飯山市では、農業従事者の高齢化、後継者不足等が進行する中で、農業の担い手を確保・育成し、地域農業の振興を図るため、農業後継者及び新規参入者の方を対象に支援しています。主な支援制度をご紹介します。

●主な支援制度一覧

個人就農支援交付金	独立、自営就農時の年齢が50歳未満の方に、営農に必要な経費の3/4、年間最大120万円を最長3年間交付します。 ※「国」の支援制度として、農業次世代人材投資事業があり、最大200万円(「国」の150万円に「市」が50万円を加算)が、最長5年間給付されます。(併用不可)
定年帰農支援交付金	独立、自営就農時の年齢が50歳以上65歳以下の方に、営農に必要な経費の3/4、年間最大50万円を最長3年間交付します。
親元就農支援交付金	親元への就農または就農見込で、申請時の年齢が50歳未満の方に、営農に必要な経費の3/4、年間最大120万円を最長3年間交付します。
転入参入農業者定住支援交付金	申請時の年齢が50歳未満の方に、市内の住居を取得するための経費の3/4、購入200万円、賃借3万円/月(最長3年間)を交付します。
遊休荒廃農地再生支援交付金	申請時の年齢が50歳未満の方に、農地等を取得するための経費の3/4、購入100万円、賃借1.5万円/月(最長3年間)を交付します。
農地効利率用金奨励交付金	申請時の年齢が50歳未満の方に、農用地の借受期間が3年以上、10aあたり2万円(上限10万円)を交付します。
法人等研修支援交付金	法人等において農業にかかる研修を実施する際、その被雇用者(申請時45歳未満)の賃金を2人まで交付(上限50万円/年、最長2年間)します。
法人等雇用定着支援交付金	法人等において農業にかかる業務に従事する者を雇用する際、その被雇用者(申請時45歳未満)の賃金を2人まで交付(上限50万円/年、最長2年間)します。

※各交付金には別途要件がございます。

●実践的な研修を受けられます

- 研修時の年齢が50歳未満の方は、飯山市農業研修センターにおいて2年間の実践的な研修を受けられます。
 - 研修期間中は、月額13万円の営農生活支援資金を支給するほか、農業機械を無償貸与、農地の賃借料を全額支援します。
- この他にも、国や県の支援制度もありますので、詳しくは経済部農林課振興係(内線264)までお問い合わせください。

あしあと 3・4月の活動記録

- 3月8日 農地相談
- // 農業委員会役員会
- 27日 3月農業委員会総会
- 4月10日 農業委員会役員会
- 25日 4月農業委員会総会・学習会